



野生動物の対策

村内の野生動物に関するお困りごとをご相談ください

☎ 林業振興室 ☎ 56-2174



エゾシカ

12月に捕獲したシカは、駆除19頭と狩猟10頭でした。猟区設置以降、12月としては最多です。



ヒグマ

令和2年度のヒグマ対策においては、地域住民の皆様はじめ関係各位のご協力を賜り、誠にありがとうございました。今月はヒグマ情報の集計結果を一部、ご紹介します。

各月各種の件数を表1と図1に示しました。過去2か年より件数が減り、特に夏以降が少なく、全体としては静かな年でした。しかし7月の突出は前年同様で、人に無頓着な若齢個体が頻出し、接近阻止や追い払いに明け暮れました。とりわけトマムや双珠別での頻度が高くなっています。また、従来6月

は静かな時期と考えてきましたが、7月にかけての人里への浸透が始まっている場合もあると分かってきたため、予察的な警戒を行っています。

表2は情報内容をもとに最も少なく見積もった個体数で、実際の生息数の数割ほどと思われる数値です。前年より減りましたが、理由としては、調査件数や死亡確認が少ないために識別情報が乏しかったことや、前年度の捕獲（成獣が多かった）が地域の定着的な個体数に抑制効果を現し始めていることなどが考えられます。

令和3年度も監視を続けながら、対応を噛み合わせていきたいと思っています。



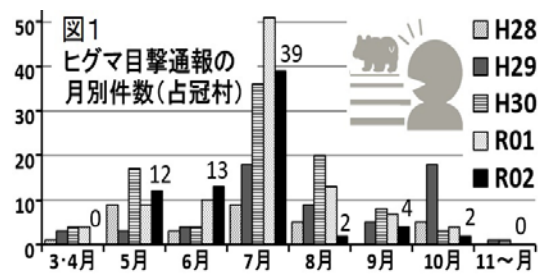
そのほか

猟区運営や鳥インフルエンザ対応は、ホームページや折込み等、最新の情報をご参照ください。

表1 ヒグマ情報件数	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2
イ 収集情報総数	165	163	276	305	293	223
ロ 目撃情報件数（イ内数）	59	35	68	106	113	81
ハ 通報された目撃（ロ内数）	52	32	61	93	98	72
ニ 調査による目撃（ロ内数）	7	3	7	13	15	9

表2 ヒグマ個体数（最少見積数）	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
全体	28 (18)	48 (35)	56 (36)	45 (31)	34 (26)
目撃通報に係る最少見積個体数	13 (10)	30 (17)	37 (20)	29 (17)	16 (11)
農業被害に係る最少見積個体数	11 (8)	19 (16)	20 (15)	15 (14)	10 (7)
農業被害と目撃通報に係るもの	1 (1)	6 (4)	10 (6)	5 (4)	1 (1)
(参考) 駆除個体数	4 (2)	13 (11)	10 (10)	10 (10)	4 (4)
(参考) 事故等死亡確認個体数	0 (0)	6 (6)	3 (3)	3 (3)	2 (2)

() 内は、親子や兄弟の1集団をひとつに数えたときの最少見積数（群数）

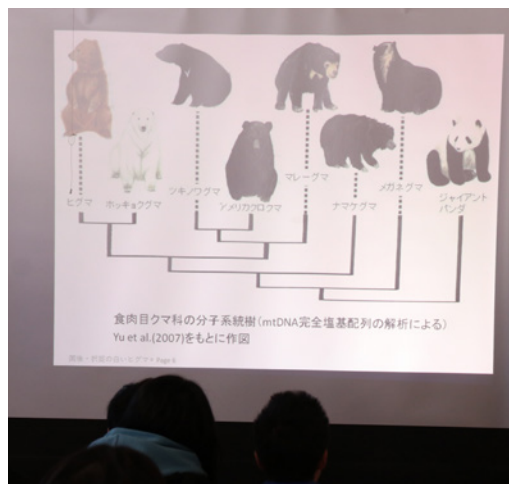


生涯学習の窓

教育・文化・スポーツのホットな情報をお届けします

☎ 教育委員会社会教育担当 ☎ 56-2183

あなたの「やってみたい」をサポートします



ヒグマミーティング



ロッククライミングクラブ



太鼓体験会

自主創造プログラムは、村民の皆さんの多様な学習ニーズに対応するための事業です。村民の皆さんが企画した事業を社会教育担当がサポートいたしますので、興味を持った方はお気軽にご相談ください。

Q1.どんなことをサポートしてくれるの？

A1.行政区回覧など住民の方への周知や、参加申込の受付、講師謝礼といった開催経費の負担（予算による制限があります）、公民館職員による当日の運営補助等です。開催に向けての事業相談も随時受け付けています。

※講師との各種交渉や、周知チラシの作成等は申込者ご自身で行っていただきます。

Q2.誰でも、どんな内容でも申し込めるの？

A2.村民または村内職場在住者の方がお申込みいただけます。内容は基本的に全村民を対象とした事業であれば大丈夫ですが、営利目的や宗教政治団体向け等の事業はお断りしています。

Q3.実際にどんな事業が申し込まれているの？

A3.令和元年度は11件の申し込みがありました。『ロッククライミングクラブ』や『村民フットサル大会』といったスポーツイベントや、『アロマとハーブのワークショップ』や『ヒグマミーティング』などのワークショップ、料理教室等が開かれています。

子育てを地域のみんなで助け合い

『地域学校協働活動』とは、地域の子どもたちを学校だけではなく家庭や地域住民もみんなで助け合って育てていこうという活動のことです。占冠村では占冠村学校支援地域本部（社会教育担当）が中心となって、各種活動を行っています。

Q1.どんなことをしているの？

A1.自分自身の趣味や特技を生かして、「山菜教室」「着物の着付け教室」「学校農園のお手伝い」「絵本の読み聞かせ」などの場面で、沢山のボランティアの方たちが、授業や活動の補助で参加してくれています。また、授業以外にも、放課後に子どもたちが学校で遊ぶのを見守る「見守りボランティア活動」なども行っています。

Q2.どうすれば活動に参加できるの？

A2.参加するには、学校支援ボランティアである世話焼き隊に登録する必要があります。興味のある方は社会教育担当までご連絡ください。登録する際には、都合の良い日時や、参加できる活動等と一緒に登録しますので、やりたくない活動を強要されることもありません。時間がある時に、無理なく、できることをして、子どもたちと関わるができます。

今回は、2つの社会教育事業の取り組みについて紹介させていただきました。この記事を読んで、何かご意見や質問がありましたら、社会教育担当（TEL:56-2183）までお気軽にご相談ください。



こちら駐在所です

☎ 占冠駐在所 ☎ 56-2110

新型コロナウィルスに便乗した犯罪に注意

道内でも新型コロナウイルスに関連した不審な電話が相次いで確認されています。

オレオレ詐欺や還付金詐欺などの被害に遭うおそれもありますので、犯人からの電話に出ないために、自宅の電話機を留守電設定にするなどの防犯対策をしてください。もし、不審な電話を受けた場合は、警察へ通報をお願いします。

《例》

防災関係者を名乗り「マスクを配るので家族は何人いますか」

保健センター職員を名乗り「コロナウイルス検査を無料で行うので、マスク2枚と綿棒を送ります」

保健センター職員を名乗り「1箱100枚入りのマスクを安く売ることができますがいかがでしょうか」

保健所職員を名乗り「PCRセットを送ります」「綿棒は口に入れてから送り返してください」

助成金補助サポートセンターを名乗り「コロナの関係で新しい制度ができた」